

同愛記念ホーム

- 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)
- ショートステイ(短期入所生活介護・介護予防事業所)
- デイサービス(通所介護・介護予防・日常生活支援総合事業)
- 同愛高齢者支援総合センター
- 同愛高齢者みまもり相談室
- 同愛記念指定居宅介護支援事業所



同愛記念ホーム

〒130-8587 東京都墨田区横網2-1-11
TEL 03-3625-6391 FAX 03-5608-3239
URL <http://www.doai.or.jp/>

特別養護老人ホーム



doaitokuyou0401

ショートステイ



doaitanki

デイサービス

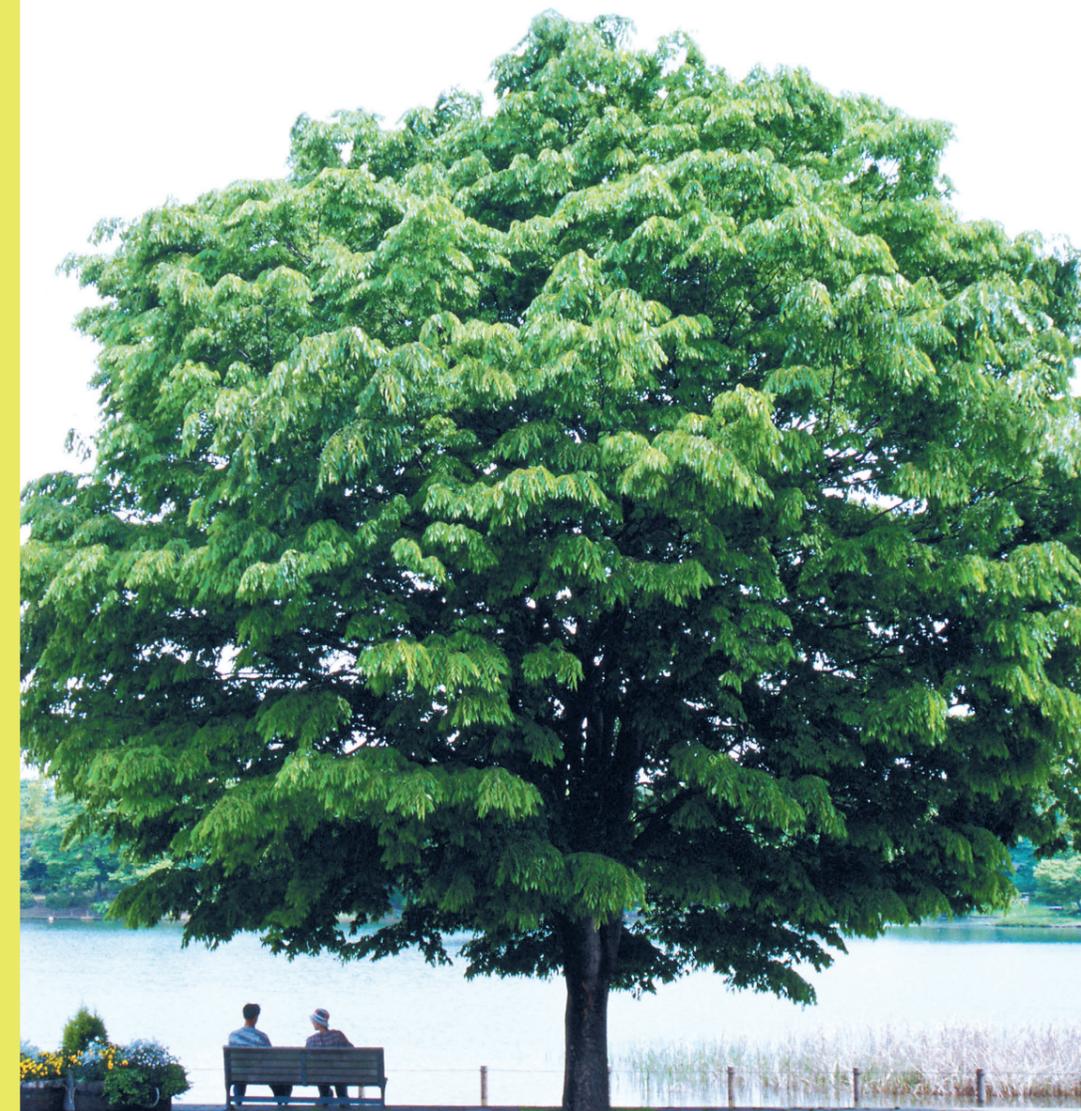


doaiday1370700450

包括支援総合センター
高齢者みまもり相談室



doaicenter_mimamori



社会福祉法人同愛記念病院財団の沿革と事業

社会福祉法人 同愛記念病院財団の設立

大正12年9月1日関東大震災に際し、米国民から贈られた義捐金を基に設立されました。
米国民の深厚な同情と友愛とを永久に記念する意味から「同愛記念」という名称を冠しました。
(当初は財団法人として発足し、戦後の米軍による接收解除後の昭和30年に社会福祉法人として認可)

法人のご案内

法人の種類	社会福祉法人
法人の名称	同愛記念病院財団
所在地	東京都墨田区横網2丁目1番11号
設置認可	昭和30年2月24日
理事長氏名	蒲原 基道

同愛記念病院

院長 平野 美和

事業

- 一般病床 330床 (中央棟5階～11階) (令和4年8月29日より) 個室 76床、4床室 224床、HCU 24床、LDR 2床、ICU 4床
- 看護病床 30床 (管理棟7階) 特別個室 2床、個室 12床、4床室 16床
- 手術室 (中央棟4階) 7室
- 透析室 (診療棟4階) 20床

診療科 内科、循環器内科、消化器内科、血液内科 糖尿病・代謝内科 神経内科、腎臓内科、呼吸器内科、リウマチ科、アレルギー科 精神科、小児科、外科、整形外科、泌尿器科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科

同愛記念ホーム

施設長 工藤 裕司

事業

- 特別養護老人ホーム事業 100名 [介護老人福祉施設]
- 短期入所事業 [短期入所生活介護] 併設型 9名 [介護予防短期入所生活介護] 空床型10名
- 高齢者在宅サービスセンター事業 [通所介護] 1日35名 [介護予防・日常生活支援総合事業]
- 高齢者支援総合センター事業 (墨田区委託事業)
- 高齢者みまもり相談室事業 (墨田区委託事業)
- 居宅介護支援事業

沿革

社会福祉法人 同愛記念病院財団の前身は、関東大震災後の地域救済医療事業を目的として、米国民からの義捐金の一部約700万円(当時)を割いて、大正13年4月28日内務大臣が中心となって「財団法人 同愛記念病院財団 (旧財団)」が設立され、同愛記念病院が開院したことに始まります。

終戦後、病院は米軍に接收されましたが、昭和30年2月24日に厚生大臣の許可を得て「社会福祉法人同愛記念病院財団」が設立され、翌昭和31年4月16日から病院での診療再開、今日に至っています。



理念

利用者と一緒に
“生活の場”を築きます

その人らしさを大切に
“個別ケア”を実践します

“地域社会から信頼される施設”
を目指します

同愛記念ホーム概要

沿革

地元墨田区をはじめ各方面の強い要望により、財団敷地内に特別養護老人ホームを建設し、平成2年4月1日から事業(同愛記念ホーム)を開始しました。併設事業として、短期入所生活介護事業所(ショートステイ)、通所介護事業所(デイサービス)を設置。
平成8年4月1日より墨田区の委託により、在宅介護支援センター事業を開始しました。
平成12年4月1日には、介護保険の導入により、特養ホーム等は介護老人福祉施設等へ切り替えるとともに、新たに同愛記念指定居宅介護支援事業所を発足させました。
平成18年4月1日の介護保険法改正により、ショートステイに介護予防短期入所生活介護事業、デイサービスに介護予防通所介護事業を新たに開始しました。また、従来の在宅介護支援センターを廃止し、同愛地域包括支援センター(含・介護予防支援事業)を創設しました。
平成23年4月1日、墨田区の委託により、同愛高齢者みまもり相談室を設置しました。

基本方針と重点

当施設は、特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス、地域包括支援センター、同愛高齢者みまもり相談室、居宅介護支援事業所の6事業を運営する高齢者介護施設及び総合相談センターです。基本方針としては上質な介護と快適な生活を提供するとともに、地域に密着したよろず相談窓口として運営することとしております。
特に、特別養護老人ホームは、施設サービス計画に基づき、可能な限り、居宅に於ける生活への復帰を念頭において、入浴、排泄、食事の介護、相談援助、機能訓練、健康管理等の世話をを行うことにより、利用者がその有する能力に応じた日常生活を営むことができるようにすることを目指すものとします。また、ユニットケアの考え方を取り入れ、主体的な生活を支えるケアを実践します。

天皇皇后両陛下下行幸啓

平成10年(1998年)9月3日、当同愛記念ホームは、天皇皇后両陛下下行幸啓の栄に浴しました。
両陛下は、午後1時52分御着になり、理事長を始め、特別関係者が御出迎えし、理事長が御先導申し上げて、財団施設の概況を御聴取の後、デイホームより順次各階の行事、機能訓練の状況を御視察され、利用者全員に親しく励ましや、労いの御言葉を賜り、午後3時5分御発になりました。

建物の概要

竣工	平成2年3月
敷地面積	13,880.96m ²
建設面積	4,744.00m ²
構造規模	鉄骨・鉄筋コンクリート6階建
総工事費	1,564,552千円
都(国)補助金	546,633千円
墨田区助成金	889,919千円
直接助成金	544,019千円
借入金返済に対する助成金	345,900千円
中央競馬社会福祉財団助成金	9,000千円
当法人負担金	119,000千円



同愛記念ホームは、快適に、安心して暮らせる生活の場です。

特別養護老人ホーム

ここはあなたのお家です。おてつだいます…
あなたらしい生活を

くつろぎのある時間を過ごしましょう。
食事・入浴・排泄などすべて安心。
あなたが自分らしくできる生活の場を提供します。
誰でも自由に参加できる行事や催事もご用意しています。

介護老人福祉施設

対象者: 要介護3～5までと認定された方及び、要介護1又は2と認定された方の中で、特例入所要件に該当する方



ショートステイ

短期、宿泊できる施設です

高齢者を一時的にお預かりいたします。
お気軽にご相談ください。
ご家庭で介護をされている方、日頃の緊張と離れて気分転換してください。

短期入所生活介護

対象者: 要介護1～5までと認定された方

介護予防短期入所生活介護

対象者: 要支援1・2と認定された方



デイサービス

外に出てお友達の輪に参加しませんか?

在宅で生活をされている高齢者を対象に、
昼間デイホームに來所していただき(送迎します)
食事・入浴・その他余暇活動等必要なサービスの提供を行い、
一日を快適に過ごしていただきます。
あわせて、自立支援やご家族の介護負担の軽減を図り
生活及び気持ちのゆとりが生まれるように支援いたします。

通所介護

対象者: 要介護1～5までと認定された方

介護予防・日常生活支援総合事業

対象者: 要支援1・2と認定された方または、基本チェックリストで事業対象者に該当した方



相談機関

同愛高齢者支援総合センター

介護保険に関することについて支援いたします。

地域の皆様、なんなりとお気軽にご相談ください。

事務所: 墨田区亀沢2-23-7 塚越ビル1階です。

介護予防支援事業

まずはお電話を!

【相談窓口】03-3624-6541

同愛高齢者みまもり相談室

事務所は、同愛高齢者支援総合センター内にあります。

【相談窓口】03-3625-6421

同愛記念指定居宅介護支援事業所

介護保険に関することについて支援いたします。

介護支援専門員が介護保険サービスの利用等について、ご本人と相談しながらケアプラン(介護計画)を作成し、在宅生活の支援のお手伝いをいたします。

居宅介護支援事業

【相談窓口】03-5819-8211

対象者: 介護認定を受けた要介護状態1～5までの方

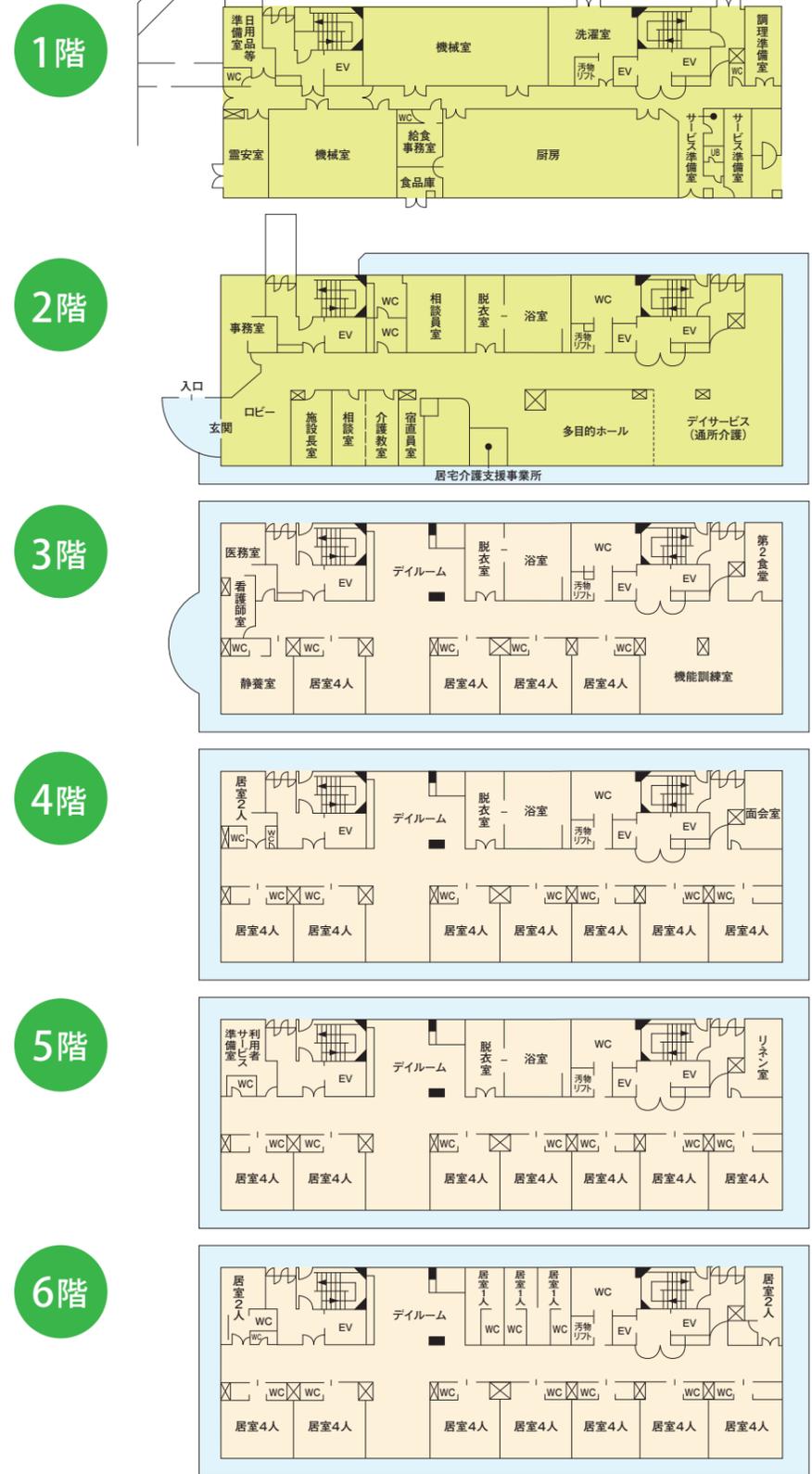
利用料金: 無料(全額介護保険から給付されますので個人負担はありません)



快適な生活空間と充実している設備による安心感。

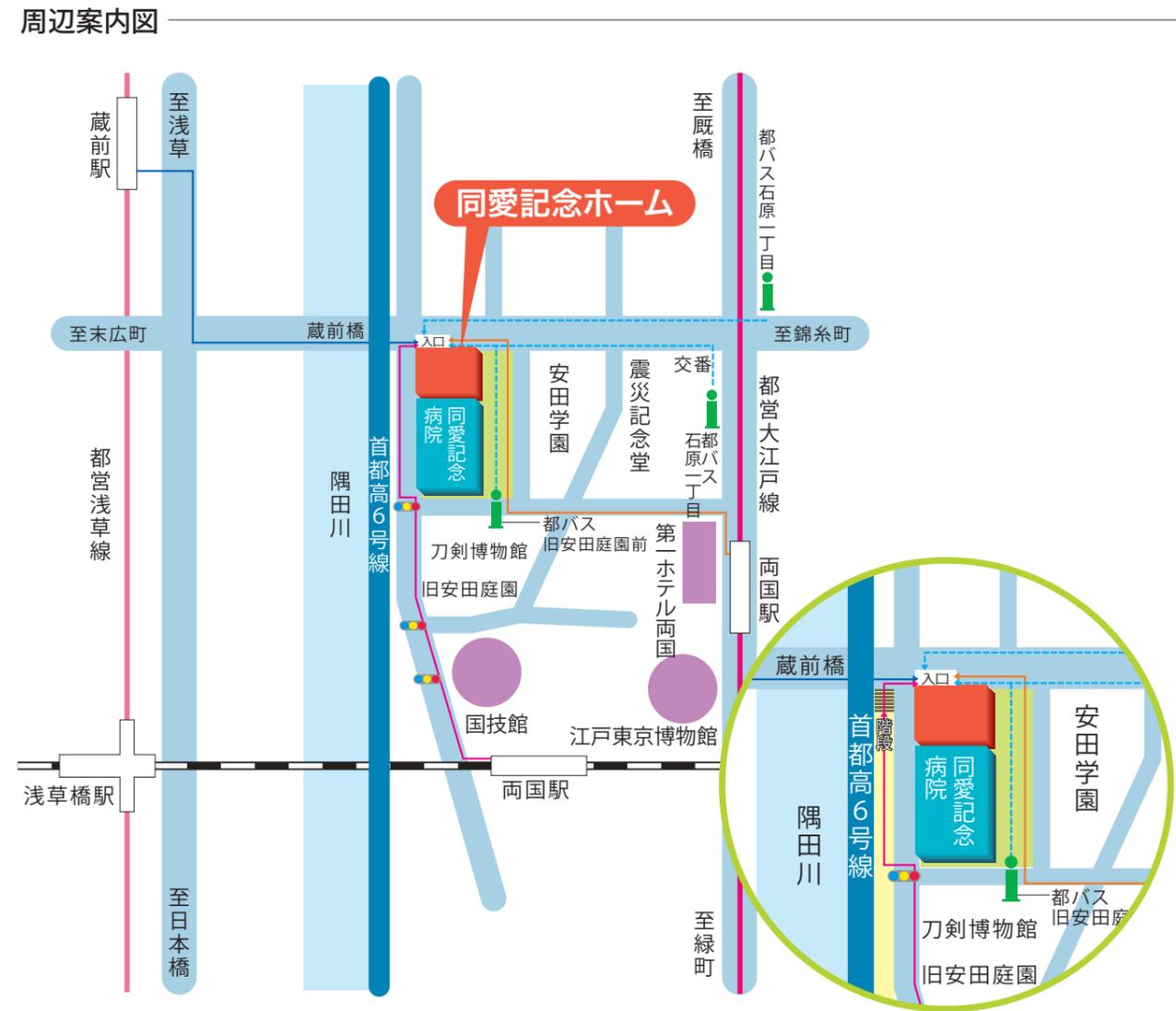
館内案内

3階から6階までの憩いの場所デイルームでは、各フロアごとに特徴ある空間を演出。お気に入りのスペースで皆さまとごゆっくりお過ごし下さい。



都心で駅近。隅田川リバーサイドで景観良好。

案内図



交通案内

電車をご利用の場合

- JR総武線 両国駅(西口)から徒歩7分
- 都営地下鉄浅草線 蔵前駅から徒歩10分
- 都営大江戸線 両国駅から徒歩5分

都営バスをご利用の場合

- 石原1丁目停留所から徒歩3分
(錦糸町～大塚駅)(亀戸～豊海水産埠頭)
- 旧安田庭園前停留所から徒歩1分
(小岩駅～両国駅)

